

単元名 夏と生き物

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 夏の生き物の成長や活動と季節との関係を理解するとともに、器具などを正しく扱って観察を行い、得られた結果を分かりやすく記録することができる。
- (2) 夏の生き物の成長や活動と季節との関係について、主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 夏の生き物の成長や活動について、進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

04050106_001

【準備等】 虫眼鏡、ものさし、タブレットパソコンやデジタルカメラ、温度計、下敷き、メジャー、捕虫網、虫かご、模造紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 夏に見られる生き物に関心を持ち、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏になって、植物や動物の様子がどのように変わってきたか考える。 <ul style="list-style-type: none"> アキアカネが幼虫から成虫になったよ。 アブラゼミが見られるね。 ツユクサの花が咲いているよ。 夏のサクラはどうなっているのかな。 ★夏のサクラをかんさつしよう。 春のサクラの様子を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> 春に花を咲かせた。 花を咲かせた後、葉を出した。 新しい枝が出てきた。 春と同じ場所でサクラを観察する。 <ul style="list-style-type: none"> 木全体の様子 ・ 枝の形や色、伸び 葉の形や色、大きさ 観察した結果を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 春よりも全体的に緑色の枝が長くなっている。 葉の緑色が濃くなった。 葉が大きくなった。 さくらんぼができていた。 春よりも暑くなったから、温かさが関係しているのかな。 ヘチマはどう変わっているのかな。 <p>2～3 春から育てているヘチマについて、成長や変化の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★夏になって、ヘチマは、春のころからどのように変わっているのだろうか。 夏になって、ヘチマがどのように変化しているかを予想し、予想を確かめる方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 春から茎がかなり伸びていると思うよ。 今のヘチマの様子を春からの記録と比べて、どう変化しているかを調べればいいね。 ヘチマの成長について調べ、記録する。 <ul style="list-style-type: none"> 全体の様子 茎の長さ 葉の数や形、大きさ つぼみや花はあるか 観察記録と気温の記録を基に考える。 <ul style="list-style-type: none"> 春よりも、葉の数が増えて、葉の大きさも大きくなっている。 2種類のつぼみが付いている。 サクラが枝を伸ばしたように、ヘチマも茎を伸ばしている。 ヘチマの成長は、気温が上がったことと関係がありそうだ。 分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 夏になって、気温が上がると、ヘチマは、春の頃よりも茎が伸び、葉の数が増えている。 身の回りの植物がどのような様子をしているか調べる。 <ul style="list-style-type: none"> アジサイやハスの花が咲いている。 <p>4～5 昆虫や鳥などについて、春からの成長や活動の変化を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 春の昆虫や鳥の様子を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> バッタの幼虫を見かけた。 ツバメが巣を作っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 66～67の植物や動物を参考にして考えさせてもよい。 「季節と生き物」の学習で観察した記録を見ながら、春のサクラを想起させる。 春と変わった点を中心に記録させる。 タブレットパソコンのカメラなどで全体の様子を撮影しておく。 観察した結果を発表し合うことをきっかけにし、サクラの様子が変わってきた要因について考えさせる。 ヘチマについても思い起こさせることで、次時につなげる。 【評】サクラの観察を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 「季節と生き物」の学習で観察した記録を見ながら、春のヘチマを想起させる。 記録の取り方と、ヘチマを観察するときの視点を確認させる。 タブレットパソコンのカメラやデジタルカメラで全体の様子を撮影しておく。 気温も測らせる。 気温の測り方は、教科書P. 12を参照させる。 ヘチマの草丈と気温をグラフ化し、ヘチマの成長の変化を気温の変化と照らし合わせて考えさせる。 教科書P. 70のヘチマの様子と気温変化のグラフも見比べながら、考えを確かなものにさせるとよい。 【評】ヘチマを観察し、観察結果から考え、まとめる活動を通して、「知識・技能」、「思考・判断・表現」を評価する。 教科書P. 71の「学びを広げよう」を参考にさせてもよい。 「季節と生き物」の学習で観察した記録を見ながら、春の昆虫や鳥を想起させる。 春の昆虫や鳥の様子をたくさん発表させることで、実際に外に出て観察しようとする意欲

<p>★夏になって、こん虫や鳥などは、春のころからどのように変わっているのだろうか。</p> <p>○昆虫や鳥などの活動について予想し、予想を確かめる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタの幼虫が大きくなっていると思う。なぜなら、春に小さな幼虫がいたから。 ・ツバメは、生まれた子を育てていると思う。なぜなら春に巣の中で卵を産んだから。 ・バッタやツバメを見付けて、春と比べてみるといいね <p>○観察の計画に従い、春に調べた昆虫や鳥などについて活動の様子を調べ、記録する。</p> <p>○観察した結果を基に、夏の昆虫や鳥などの活動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタは、春より大きくなっていた。 ・子ツバメが木の枝にとまっていた。 ・ツバメの巣は空になっていた。 ・カブトムシが木の汁を吸っていた。 ・ナナホシテントウがさなぎから成虫になっていた。 ・気温は春より上がって、活動が活発になった。 <p>○分かったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏になって気温が上がると、トンボやセミなど、春の頃よりもたくさんの種類の昆虫などが見られ、活発に活動している。 ・ツバメは、子が巣立ち、春の頃と比べて、見られる数が増えている。 <p>6 夏の生き物の様子についてまとめる。</p> <p>★夏の記録を整理しよう。</p> <p>○夏に調べてきた観察記録を整理する。</p> <p>○次の季節への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから先、秋にかけて、気温が下がっていくから、サクラは成長が鈍くなると思うよ。 ・気温が下がっても、ツバメは見られるのかな。 	<p>をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（安全）スズメバチやミツバチ、チャドクガの幼虫、イラガの幼虫のように危険な虫には近付かないように十分指導する。 ・（安全）川や池などに近付きすぎないように注意させる。 ・何がどのような活動をしているか記録させる ・タブレットパソコンのカメラやデジタルカメラで撮影しておく。 ・昆虫や鳥がよく見られるようになったことへの要因についても考えさせるとよい。 ・教科書P.74の写真や、この季節に見られる生き物の映像資料を参考に考えさせてもよい。 <p>【評】夏の生き物の様子を観察し、記録する活動を通して、「知識・技能」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「季節と生き物」と同様にして記録を整理させ、季節ごとにまとめていく。 <p>【評】夏の植物と昆虫や鳥の様子をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】

- ・1年を通じて動物の活動や植物の成長をそれぞれ2種類以上観察するものとする。

<関連>

- ・第3学年「生き物を調べよう」「植物を育てよう」「チョウを育てよう」「こん虫の世界」
- ・第5学年「植物の発芽や成長」「メダカのたんじょう」「花から実へ」